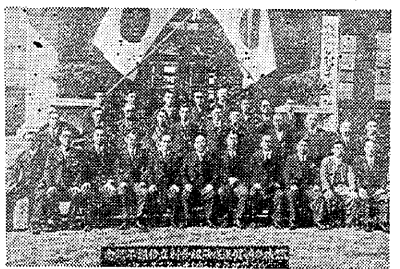




### 磐城炭礦 健康保險 組合拾週年記念式

健康保險法が實施せられしは昭和二年一月一日にして、本年は之が十週年に相當するを以て、吾が組合に於ては、創立十週年記念事業として二月二十日、淺野翁頌徳記念館に於て左記式典を舉行せり。



磐城炭礦創立十週年記念式典

- 第一部 一、開式の辭
- 二、國歌合唱
- 三、濱崎理事長挨拶
- 四、表彰狀及記念品贈呈
- 五、來賓祝辭

保險課長 磯業所長 齋藤長外一名、磯業所長外會社關係六名、現及前職員八三名、醫療關係二九名、嘱託視察員二六名、十年間健康者一七名、組合職員九名

十年間健康者氏名  
伊藤留次、伊藤廣吉、市川善長、波部昇、齋谷盛太、菅野健吉、山崎二郎、正木千代三、松村清安、積後一、三林寅太郎、先崎後治、鈴木正信、鈴木喜平、鈴木清、須藤辰藏、近藤仙之助。

式典參列者及來賓  
保險課長外一名、磯業所長外會社關係六名、現及前職員八三名、醫療關係二九名、嘱託視察員二六名、十年間健康者一七名、組合職員九名

十年間健康者氏名  
伊藤留次、伊藤廣吉、市川善長、波部昇、齋谷盛太、菅野健吉、山崎二郎、正木千代三、松村清安、積後一、三林寅太郎、先崎後治、鈴木正信、鈴木喜平、鈴木清、須藤辰藏、近藤仙之助。

式典參列者全部に對し社會局長官の揮毫になる「健康第一」と染抜きたる富士絹風呂敷及手拭を贈り、被保險者五千數百人には手拭を贈呈して本記念の趣旨を徹底せしめたり。

課員 平野 諭報

### 淺川綴驛長榮轉

綴驛長淺川虎彦氏は、去る一日附を以て土浦驛長に榮轉し、其後任として、高萩驛長加藤鐵治郎氏が、之亦榮轉着手した。

### 磐城消防檢閲

二月二十八日午前八時より金坂運動場に於て、左記次第による消防檢閲を執行し

一、檢閲  
一、水勢試驗、風船落競技、第一回内郷消防隊  
二、賞品授與

濱崎副所長



磐城消防の水勢試驗

### 中等校卒業生

本村關係者子弟にして、町に於ける各中等學校の卒業生は左の通りである。

磐城中等學校  
秋山金彌 青木滿男 安齋一郎  
石橋正己 里見可中 鈴木武雄  
高萩達雄 高橋侃 根本正男  
長谷川敏 長谷川隆 舟田義澄  
武藤義明 山崎導雄

磐城高等女學校  
會田初子 海川はるよ 大越ハナ  
國井満子 坂本キク 齋藤和子  
三宮梧伊 鈴木幸 鈴木ハツ江  
住谷美子 土屋シゲ 新妻文子  
沼田治代 福羽靜江 船山アイ子  
馬場多美子

平商業學校  
會川太平 荒木勝彌 野野長一  
牛久盛夫 大越孝一 齋藤之男  
白旗安雄 鈴木二郎 鈴木正平  
鈴木武夫 根本浩 渡邊潔

### 振興會

三月六日午後二時より村會議事堂に開會、出席者六十余名。金澤助役議長となり

一、産業方面(農會、組合等)  
二、選舉肅正の件  
三、教化の件  
四、村報發刊問題  
五、時間恪守の件等に於て協議を遂げ、其實行方法を講じた。而して村報委員として、佐藤一、田口淳三、大内民恵の三氏選任せられた。

○本紙贊助金寄附芳名  
金壹圓 内郷 田中 梧樓  
金貳圓 同 服部 幹雄  
金五拾圓 同 某 氏  
金壹圓 東京 山邊 三郎  
金壹圓 仙臺 川口 誠太

武藤義造氏榮轉  
男女子青年團、兒童教育後援會、本村社會事業等に功勞多からざりし、磐城住吉抗御殿勞務主任、本村方面委員の同氏は、第二磐城長倉坑勞務係に榮轉したる以て、去る九日内郷館に於て、全勞務課員及募集員一同、懇親を兼ねて一大送別宴會を開催して、其行を盛んにした。因に其後任として、宮澤主任の勝沼國吉氏

健保議員改選  
磐城健保組合では組合會議員満期となりたるを以て三月十四日それれ、事業に於て被保險者の互選を了し、次いで理事及理事長を決定した。其の氏名は左の通りである。

選定議員 (印は理事)  
理事 平野 諭報

我國教育學界の權威  
前京大總長小西重直博士  
書を寄せて曰く、多年ノ御教諭下實地ノ御試練ニ基キ眞學國ノ大精神ヲ拜味仕リ不思議感激ニ打メレ申候云々。

發行所 日本評論社  
東京京橋三丁目  
取次所 内郷村報社

### 教育制度改革概論

矢野 恒太 大内民恵 著  
藤野 宇之吉

行き詰る現代の教育制度を解體して、學理を實際に、歴史を實際にから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同攻撃に違あらず。されど未だ一人の抗議者も現はれず。

### 仲平互助組合の創立

近年順に國民經濟生活窮  
方面委員 田口 淳 三  
仲平互助組合規約

一、計一五六。第一種世帯三一、人口一二九  
二、計一五六。第二種世帯七四、人口三四  
三、計一五六。第三種世帯一、人口一  
四、其他一。計一五六。第一種世帯三一、人口一二九  
五、計一五六。第二種世帯七四、人口三四  
六、計一五六。第三種世帯一、人口一

總會開催、其席上に於て、本村の馬目欣一氏は優良團員として、光輝ある表彰をうけた。

大野 恒太 大内民恵 著  
 教育制度改革概論  
 (四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

矢野 恒太 大内民恵 著  
 教育制度改革概論  
 (四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

# 仲平互助組合の創立

方面委員 田口淳三

近年頃には國民經濟生活窮乏を來し、人情は日々に薄らぎ同胸相變の念何地へか消え失せ、隣保相扶の美風は今や地を拂つて他を顧みず、世は滔々として私利の一途に推進して居るのである。此の際に當りて吾が部落に於ては、標題の如き組合を組織し、人生の最も悲慘事たる葬儀に先だち、費用金策の苦を免れしめんがため、封建時代に於ける五人組制度の如く互助の精神に基き、左記規約の下に組合員を募集したるに四家又一氏の如きは此の舉を美なりとして率先加入せられ、一舉に組合員十六名を得て、茲に其の設立を見るに至つたのである。互助の精神に富み、相愛の至情に燃ゆる組合員の結合より成れるものなれば、今後に向つて本組合の趣旨に基き之れが擴充を圖り意義あり力ある活動を見るに至らんことを只管期待して止まない次第である。昨年納税組合を設立したるに端を發し今回此の組合の誕生を見るに至れることは余の最も欣幸とする處である。

## 仲平互助組合規約

- 一、本組合ハ互助ノ精神ニ基キ組合員中ニ葬儀アル場合一時基金ヲ融通スルモノトス
  - 一、本組合員ハ基金トシテ金五圓ヲ積立ツルモノトス
  - 一、本組合中基金ノ融通ヲ受ケントスル時ハ組合員中ヨリ一人ノ保證ヲ付スルモノトス
  - 一、但シ一人一回ノ融通金ハ五拾圓ヲ限度トス
  - 一、融通ヲ受ケタル會員ハ三日以内ニ必ラズ返済スルモノトス
  - 一、基金ハ内郷信用購買組合ニ定期預金スルモノトス
  - 一、一時借入金ノ利息ハ基金利息ヲ以テ補填スルモノトス
  - 一、中途脱退セントスル者ニハ積立金ノ返還スルモノトス
  - 一、本組合解散ノ場合ニハ基金ヨリ生ジタル利息ヲ平等ニ分配スルモノトス
  - 一、本組合ハ拾ヶ年ヲ一期トス
  - 一、本組合ノ事務ヲ處理スル爲メ組合長及副組合長一人ヲ置クモノトス
  - 一、但シ組合長ハ一切ノ事務ヲ掌ルモ事故アル場合ハ副組合長ヲ代理ス
  - 一、本組合長及副組合長ハ選舉トス
  - 一、但シ任期ハ各三ヶ年トス
- (昭和十二年一月十三日決定)

## 方面事業取扱數

- (二月分)
- 一、生活扶助、法令によるもの二九。
  - 二、然らざるもの二九。
  - 一、兒童保護、法令によるもの二、然らざるもの三八。
  - 二、職業指導、二四。
  - 三、戸籍整理八
  - 四、職業紹介其他、二八。
  - 五、教化

選定議員 (印は理事)

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理に實際を、歴史を實踐から新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同枚舉に違あらず。されど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威  
 前京大總長小西重直博士  
 書を寄せて曰く、多年ノ御體験ト實地ノ御試練ニ基ク眞摯愛國ノ大精神ヲ拜味仕リ不思議感激ニ打テ申候云々。

## 學藝會

高坂の尋常高等校では、二月二十八日、宮の第三小學「櫻」三月號入選句

瀧繁吹懸れる巖の水かな 六王  
 地迎りの陽はに山の眼り幾 同  
 坑内出水穢性者追悼句 同  
 泣き語りしつ、炭づく女房哉 同  
 霜置きし坑内帽も形見かな 同  
 坑内を捨るる宮へ初詣 同  
 手品師は屠賣てにありに幾 同  
 管鳴や山へ延行く坑夫墓地 野露司  
 掛炭掃溜り小舎にも目眩哉 雪行子  
 坑毎に敬神會や初詣 盧城

高木 撫山  
 れぶかけの子に目覺しの追灘豆  
 酒倉も仕込終ひや梅の花

## 就職決定

高小卒業生の就職決定  
 高坂校高等科の卒業生は、男二百二十五名、女百八十八名であるが、内八十名はそれ〴〵就職決定した。其主なるものは左の諸方面である。

- △磐城炭礦製作所△保土ヶ谷製作所△海軍工廠△航空廠
- △大阪鐵工所△郡山職工所
- △日清紡△鐘紡

## 御殿主婦會の雑巾寄贈

磐城炭礦御殿主婦會に於ては、會員中七百四十六名が各々廢物を利用して、雑巾千六百八十六枚を作製し、大賀會長以下幹事七名が、之を携へて、高坂小學校に寄贈した。學校に於ては特に其篤行に對して衷心より感激して居つた。

## 開拓記

北海道十勝國上川郡清水町 清水山莊

櫻友會名簿を都度巻等々いろいろ有難う御座いました。桑野さんにお便りいたしました。せんから、お序の折よろしく申上げて下さい。東京からいろいろ送つて来た事、二部へ當方からいろいろ送つて来た事、私からは申上げません。相變らず當方はお天氣つゞきです。昨夜から二階の炬燵で、二少年に珠算を二時間宛放へる事いたしました。大そうよく覚えてくれるので、うれしく存じて居ります。

## 大内

私の一生中に、この二人に是非教へ込みたいものさ念願いたして居ります。諸支拂はすつかり相済みましたから御安心下さい。來月四日に、五十嵐の息子さんを見舞に文字をつれて帶廣へ行つて來る予定です。ではよい年をお迎へ遊ばせ。十二月二十九日 崎 崎

拜復 二十四日附お便り有難う御座いました。一昨日は村報昨日は海苔一箱を都度巻有難う御座いました。二部公の處へは、姉よりのソーマーシジミ、新潟よりのヨウカ

同 懇親を兼ねて一大送別宴會を開催して、其行を盛んにした。因に其後任として、宮澤主任の勝沼國吉氏

一、答辭 湊消防長  
 一、酒肴料授與  
 一、解散 午前十一時

日本評論社  
 東京橋本三丁目  
 内郷村報社

